

第18回全国藩校サミット壬生大会開催記念「第3回壬生藩校学習館祭り」

# 論語青少年・町民の主張

## 作文・発表コンクール

### 応募作品募集



令和3年11月20日、壬生町において、第18回全国藩校サミット壬生大会が城址公園ホールで開催されました。この壬生大会の開催を記念するとともに、藩校教育にかかるこれまで取り組みを継続・発展させていくことを目的に、「壬生藩校学習館祭り」を開催いたします。

全国藩校サミットとは、「江戸時代の藩校で行われていた教育・精神を再認識して現代に生かそう」という趣旨のもと、藩校間の文化交流と漢字文化の継承を願い、漢字文化振興協会が中心となって、これまで全国各地で開始されており、旧大名家（藩主）のご子孫やその関係者が一堂に会しての一大イベントになります。

皆さんは日常生活のなかで、論語を思い出すことはありますか。

壬生論語の一節に「子の曰く、学びて思わざるときは則ち罔し。思いて学ばざるときは則ち殆し。」とあります。師や書物から学ぶだけで、自分で考えないと、はっきりとは理解できない・・・と孔子は言葉を残しています。

これまで学んだ論語の意味と皆さんが感じた事や考えた事を照らし合わせ自分なりの主張として作文にしてみてください。



**募集締め切り 令和6年 9月27日(金)**

※各学校の代表者に壬生藩校学習館祭り[11月10日(日)]で発表していただきます。

- ✦ 主催 壬生町教育委員会
- ✦ 共催 壬生論語検定実施委員会
- ✦ お問い合わせ 壬生町教育委員会事務局生涯学習課生涯学習係  
TEL 0282-81-1873 / FAX 0282-82-0935



# 募集要項



## 1 募集対象

- (1) 小学生の部・・・小学校3～6年生
- (2) 中学生の部・・・中学校1～3年生
- (3) 一般の部・・・町内在住の小中学生を除く町民を対象とする。

## 2 実施方法

### (1) 作文内容

壬生論語古義抄の中から、1首の論語を選び、その論語の持つ意味について調べ、解釈するとともに、その論語を通して現代社会や日常生活、自身の生き方などを再確認し、気づいたことや改善すべきことなどについて自分自身の主張や考えを原稿用紙に記載する。(400字詰め原稿用紙3枚以内)

### (2) 募集締め切り

令和6年9月27日(金)

### (3) 応募窓口

- ①小・中学生の部・・・学校を通して壬生町教育委員会生涯学習課(担当:町田)
- ②一般の部・・・歴史民俗資料館内「壬生論語検定実施委員会」  
☎ 0282-82-8544

## 3 提出様式

### ①用紙及び書式

- ・B4版400字詰め原稿用紙縦書き

### ②原稿作成上の注意

- ・1行目から 表題(好きな論語の冒頭一部 例えば「学びて時に之を習う」等。)
- 2行目には 学校名・学年・氏名(一般の方は所属、団体名もしくは住所)
- 3行目から本文を記入
- ・本人の自筆に限る。HB以上の濃い鉛筆、シャープペンシルを使用  
ワープロやパソコンを使用したものは不可だが、けが等により、自筆が不可能の場合は可。
- ・原稿用紙3枚以内

## 4 作文・発表コンクール

- ① 開催期日 令和6年11月10日(日)9:00～12:00(予定)
- ② 開催場所 城址公園ホール(壬生中央公民館)大ホール
- ③ 入賞者 小学生の部:最優秀賞1名、優秀賞1名、奨励賞発表者全員  
中学生の部:最優秀賞1名、優秀賞1名、奨励賞発表者全員  
一般の部:最優秀賞1名、優秀賞1名、奨励賞  
入賞者には賞状等を贈呈する。

※審査結果は、後日、学校等を通して発表いたします。

- ④ 表彰式 日時:12月14日(土)午後の予定  
会場:壬生町城址公園ホール(中央公民館)

## 5 お問い合わせ 壬生町教育委員会事務局 生涯学習課 (TEL:0282-81-1873)